

世界初となるAI搭載輪転機の開発プロジェクトのプロデュース

取組ポイント

1. アナログ印刷機に世界初となるAIを搭載
2. AI素人集団を牽引
3. 社員の活性化と夢の実現

STEP 1 抽出された経営課題



～アナログ印刷機に世界初となるAIを搭載～

印刷業界は人口減少とともに労働力不足が深刻化し、印刷技能の継承が課題です。プロの印刷エンジニアが不足し生産性の課題が浮き彫りになりつつあります。

また、印刷機械の海外市場においては中国メーカーの低価格製品が脅威の存在です。価格勝負ではなく、付加価値を高めることで差別化を図らなければなりません。

以上のことから、AIをツールとして、印刷の生産性を向上させ、アナログ印刷機の付加価値を強化する世界初のAI搭載輪転機の開発が急務でした。

STEP 2 プロ人材に与えられたミッション



～AI素人集団を牽引～

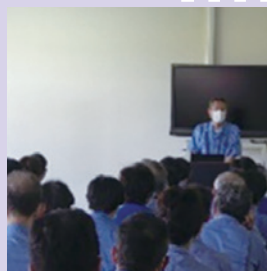
AI搭載輪転機開発プロジェクトのプロデューサーを求めました。世界初のAI搭載輪転機開発チームのオーガナイザーです。蓑島氏はソニーでデザインマネジメントシステムの開発・運用や世界初の家庭用オーディオ機器向け音楽配信サービスなど、多くのミッションを担い開発型プロジェクトマネージャーとして活躍されてきました。今回は「開発コンセプト構築」から蓑島氏の人脈力をフル活用して協力事業者とのコミット等々、AI素人エンジニアを牽引して頂きながら、想定以上のスピード感をもって開発プロジェクトを進行中です。

STEP 3 プロ人材がもたらした効果



～社員の活性化と夢の実現～

AI搭載輪転機を開発し、世界初の製品を東京ビッグサイトで開催される「国際印刷機材展 IGAS2022」に出展することを目指したスケジュールでプロジェクトは進行しています。蓑島氏には、プロジェクトのプロデュースのみならず、全社員の教育にも携わっていただいています。これにより社員一人一人の目に輝きが宿ってきていますし、社員全員でプロジェクトを盛り上げる機運が高まっています。



企業からの声 工場長 藤原 鈴司 氏

弊社はビジネスフォーム印刷機械国内トップメーカーで、完全にカスタマイズされた、世界に一台の製品(数千万から数億円規模)を完全受注生産で国内外向けに製造販売しています。毎回設計が必要なことから、設計者不足の為、プロフェッショナル人材戦略拠点に相談したところ、ただ設計者が欲しいだけでは人材は集まらないと言われ、夢を語る企業でなければ人は集まらないと指摘を受けました。そこで、かねてからの夢の実現に向け、プロフェッショナル人材戦略拠点を通じて秋田県主催のマッチングイベントに参加し、蓑島氏にお会いしました。蓑島氏はプロフェッショナルな方との人脈も広く、幅広い知見もあり温かな方で、社員の中にもすぐに溶け込んで来ています。現在、目標達成に向けてスケジュール通りに邁進しています。素晴らしい方にめぐり合わせてくれたプロフェッショナル人材戦略拠点に感謝いたします。



展示会(会場:東京ビッグサイト)



入社時のプロフィール

蓑島 俊和 氏

役職名 : aiR Project 担当

年齢 : 61歳

家族構成 : 妻、息子

主な経歴 : ソニー株式会社に在籍時に、数々の新規事業の立ち上げと運営に携わり、その後独立。

出身地 : 神奈川県 前居住地 : 神奈川県

還流ルート : その他

入社した経緯

昨年(2019年)10月、プロフェッショナル人材戦略拠点を通じて秋田県主催の人材マッチングイベントに参加し、藤原工場長が提起された「アナログ印刷機にAIを載せたい」という課題に魅力と可能性を感じるとともに、藤原工場長の人柄に惹かれ、国見工場の見学と面談を通して開発プロジェクトへの参加をアピールすることで、コンサルティング契約を結ぶことができました。

入社してから携わった業務

世界初の「AI搭載のアナログ印刷機」の開発プロジェクトに実務協働型のコンサルタントとして参加し、プロジェクト全体の実行計画の策定、プロジェクトメンバーや関係者へのヒアリング、プレストを通しての課題の抽出と共有、課題(AI実装)の解決に向けた活動(検証と分析)を行っています。その他、協力会社様との打合せ(主にWeb会議)やAIベンダーの選定などにも携わっています。

当社での働きがい

プロジェクトメンバーをはじめ、社員のみなさんが、礼儀正しく、自分の仕事に対して前向きだと感じています。さらに、モノづくりの現場である国見工場の雰囲気、佇まいが気に入っています。その結果、開発プロジェクトに関しても、とてもモチベーションが高く、遣り甲斐を感じています。特にソニーのDNAとして、世界初という言葉には触発されるものがあり、このプロジェクトの成功に向けて頑張ります。